

## 「みんなでつくろう 市民トーク」開催結果（片浜地区）

---

### 1 日時等

- (1) 日 時 7月5日（水） 午後7時00分～午後8時15分
- (2) 会 場 片浜コミュニティ防災センター
- (3) 意見交換 市長による市政情報、地区が希望する説明、質問票
- (4) 参加人数 44人

### 2 地区の希望する市政内容について説明（19:48-20:55）

#### (1) 片浜小学校の利活用について

片浜小学校が今年3月で閉校となり、現在は社会教育課の事務所として校舎の一部が使われています。これまで市は、小学校だった建物であることから、将来に向かって地域を支えるためのこれからの人づくりの拠点とするという考えを示してきました。

校舎の活用にあたっては、市民活動のほか、民間事業者の利用も考えているということでしたが、今後の利活用について、運営方法やスケジュールについて、説明していただきたい。

#### 【回答：杉本副市長】

旧片浜小学校の利活用については、「牧之原市公共施設マネジメント基本計画」の“未来志向で考える”“賢く使う”などの考え方に沿って、体育館を除く施設を一体的に民間で管理・運営していただく予定です。そして“新たな教育・人づくり”の拠点として、利活用していきたいと考えています。

具体的な旧校舎の活用についてですが、南棟については2階・3階を主には田沼塾・はりはら塾などの市民学習の場に、そして1階を社会教育の事務所のスペースに活用するなどの条件を盛り込み、これから民間の運営事業者を公募する予定です。

その他の部屋はテナントとして民間企業等に貸し出したり、理科教育の場、地域活動の場などのスペースとして活用されることなどが考えられますが、選定した民間事業者から提案していただき、施設全体を利活用していきます。

利用料金については、田沼塾・はりはら塾などの市民学習で利用する場合は、市内の公共施設と同等の料金で利用できるよう配慮します。

また、今後のスケジュールですが、非常灯設備の設置など、法的に必要な改修の設計、工事を行った後、平成30年4月を目標に、民間による管理運営をスタートさせたいと考えています。

(2) 自転車道海側の市有地の管理について

片浜の坂井地区には、自転車道の海側にある市の土地に草が生い茂って荒れている状態の場所があります。以前に市役所へ草刈りを要望したところ、県へ取り次ぐとのことでした。

その後、進んでいないので、現地の写真を撮って県へ話をしたところ、そこは、市の土地だと言われたので、再度、市へ要望しました。市では、徐々に草刈りをしていくとのことでしたが、今後どのように進めていくのかを伺いたい。

【回答：杉本副市長】

ご質問の土地は、平成 15 年国有財産譲与により財務事務所から譲与を受けた土地で、坂井平田港入口からラムネ川東側の間約 900 m で、自転車道から海岸防潮堤までになります。本年から自転車道の通行に支障がある部分から除草を予定しており、現在業者と施工機械等の打合せを行っています。

また、今後予定されている防潮堤嵩上げ (+30 cm) 工事の用地等としての活用も関係機関と調整していきたいと考えています。

3 会場で出た意見・質問 (20:55-20:15)

(1) 片浜小学校統合に関する市長の責任について

片小統合について、全責任は市長が取ると発言していたが、市長が変わった後が不安。書面で次の市長に引き継いでほしい。(片小統合は) 議会で議決されたもので、地元は納得していないと認識している。

【回答：西原市長】

私がこの 10 月で退任すると表明しての話だと思います。統合によって様々な課題が生じるかもしれない。その時にその課題を解決するのは、我々もそうですし皆さんや教職員も含めて全員で問題解決にあたっていく。その責任は市にあるでしょうし、市の最高責任者は市長ですから、市長にその責任があると思います。



何か課題や問題があれば解決していくのは当たり前ですから、私が市長を辞めても、その責任は新しい市長が同様に担い、問題解決にあたっていくものと思っています。もちろん私がどこかに逃げてしまうわけではないですし、片浜のプロジェクト等に関しても皆さんと一緒に応援していきます。

### 【再質問】

ある程度、私も市長に意見をしてあります。責任を取るということは辞めるということではなく、市長として、条例やこうしたらどうかという案を出して後世に譲っていただく。でないとなりの市長が本当にやってくれるのか片浜区民は不安です。言葉だけでなく、ちゃんとした契約書か何かを書いてもらわないと、口先だけでは区民は納得しないと思います。

片浜小学校の子どもたちが相良小学校へ通わされることは、市からの一方的なことであり、私たちは守る会をやってきて全て納得したわけではありません。市議会の採決によって決められたことで、地域の賛同を得てやったことではないと思っています。

市長が退任するということですので、次に誰になるか分からないのでちゃんとした文書で残してもらえたら、片浜区民も納得がいくと思います。何か文書で残し、区長に渡してください。お願いします。

### 【回答】

会場で市長が答えたとおり、現市長が市長を辞めても、その責任は新しい市長が同様に担い、問題解決にあたっていくのは、行政の仕組みとして当然のことです。これについては条例のようなかたちにできるものではありませんが、市として責任を持って引き継いでいくものであります。

片浜地区のまちづくりについては市として力を入れて推進しておりますので、皆さんの更なる参加とご協力をお願いいたします。

### (2) 市民トークの開催場所

本日の会場が旧片浜小学校ではないのはなぜでしょうか。旧片小の方が会場広いと思うのですが。

### 【回答：田形秘書広報課長】

例年、市民トークはこの会場で開催しており、皆さんにも周知されているということでこの会場になりました。平成30年度から片小が本格的に使えるようになったら、施設を比較し、地区とも相談しながら会場を決めたいと思います。

### (3) 促進住宅について

片浜の雇用促進住宅について、入居募集せず、住めなくなると聞いていた。現在、入居者募集ののぼり旗が立っているが、何も聞いていない。入居条件は？ 民生委員は把握しているのか。

### 【回答：小栗総務部長】

雇用促進がなくなってからは独立行政法人高齢障害求職者雇用支援機構とい

うところが所有しており、平成 29 年 4 月 1 日に競売により、民間企業の全国民間賃貸サービス合同会社という東京都港区にある会社に譲渡されました。これについては、市にも 4 月に入ってから通知が届いたところです。

現在、7 世帯 18 人が入居していますが、まだ部屋がありますので、空き部屋を補修しながら新しい入居者を募集するということで進んでいるようです。

今後は民間アパートになるので、入居条件等は把握していません。民生委員も他のアパート同様に転入届等で把握することになると思います。

**【再質問】**

細かいところは分からないということですが、金額や外国人の可否、高齢者の可否等についてはどのように聞いておりますか。

**【回答：小栗総務部長】**

そこまでの入居条件が市には来ていませんので、直接問い合わせをしないと分かりません。

**【再質問】**

7 世帯 18 人がいるということでしたが、これは民生委員も関係があることです。そのような人が入居しているということは民生委員には連絡してありますでしょうか。

**【回答：小栗総務部長】**

そこまではないと思います。転入届で把握することになり、一般のアパートと同じです。

**(4) 片小の民間企業選定委員について**

昨年度、市長や副市長、教育長には片浜まちづくりに多くの出席をいただき感謝しています。片小は民間公募により運営企業が決定することだが、プロポーザルであれば選定委員会を組織すると思います。その際には区長や片浜まちづくりの山本氏等を委員に入れ、地元の意見を反映していただきたい。

**【回答：杉本副市長】**

これから要項を公にして公募に入ります。ただいまのご意見を十分に踏まえ、選定にあたりたいと考えています。

**(5) 榛原総合病院の状況、廃院したほうがよい。**

榛原総合病院の累積債務、年間の返済額はいくらか。地代、建物賃借料は、いくら入っているか。榛原総合病院はやめるべき。もったいない。

【回答：西原市長】

正確な額ではないですが、毎年1市1町で3.6億円を徳洲会に支払っています。建設時に百数十億を国から借り入れています。運営を続ける限り返済は免れるため、続けていくしかありません。

公営企業会計でいえば、累積債務は百数十億とあります。通常の企業だと損金処理していきます。損金処理というのは次に建物を建設するための資金を貯めていくというようなものです。他の病院も同じですが、病院を建設した借金の返済というのは、だいたいは税金の中からです。病院の運営自体までもお金を振り込んでやっているというのが通常です。牧之原市の場合は吉田町と3.6億円を徳洲会に年間の運営費として渡しています。建物の借金は行政がずっと支払っています。

3.6億円が高いか安いかというと、他市町と比べると同等か安いと思います。一般企業という債務等という考え方は、公立病院では直接できないということをご理解願います。詳細な資料の用意が今できませんので、改めて提示したいと思います。

【再質問】

榛原総合病院を閉院すれば徳洲会へ毎年3.6億円を払う必要がなくなる。徳洲会との契約が10年とありますが、5万人の市町では、総合病院は黒字経営できないようになっていきます。市長をはじめ市議会議員も榛原病院を閉鎖すると言いつ票に結びつかないから、誰も言い出せないと思いますが、続けられれば続けるほど赤字を生んでいく病院はなくなったほうがいいと思います。

【回答：西原市長】

意見としては賜ります。簡単に言いますと、病院を潰したら私たちは百数十億円の借金をすぐに国に返済しなければいけません。病院を続けていけば借金を返さなくてもいいです。これは大きなことです。

【再質問】

市債を起こしているのですか。市債には償還期限がありますよね。

【回答：西原市長】

償還期限はありますが、廃院したら即返済をしなければいけない。片浜小学校も同様ですが、起債を起こしてお金を使ったら、返済期間中はその建物を使っていなければいけない。

基本的に榛原病院は潰せません。5万人の規模の病院をなぜ作ったかといえ、4町の町民の皆さんがずっと欲しいといって榛原病院をつくりました。しかし500床の病院は大きすぎました。